

第3回多度地区小中一貫校地域協議会 会議概要

開催日時 令和2年10月18日(日) 10:00~11:30

開催場所 多度まちづくり拠点施設 講堂

出席委員 22名中 19名

1. 開会

2. 議事

(1) 経過報告

(2) 各会の検討状況の報告

- ① 環境検討会より ② 学校施設検討会より
- ③ 小中学校保護者代表より ④ 未就学施設代表より ⑤ 五連合自治会長より
- ⑥ 公募委員より

(3) 基本計画(案) <前半部分>

⇒ グループワーク

Aグループ 教育の中身について、6・3制以外の区分とすることで小と中の接続をスムーズにできるメリットを出してはどうか。現在、多度ブロックで力を入れている英語の時間を充実させることで魅力を発信してはどうか。6年生での部活動体験も検討してはどうか。敷地に関して、工事中の騒音等が多度小学校児童の学校生活に影響を及ぼすことや、敷地北面の土砂災害が心配である。スクールバスは子どもたちが余裕を持てるように計画すべき。中学生の制服などは開校前から順次変更しておくことができる。計画の目的の中にも多度の自然や文化を大切にすることを載せてはどうか。地域とのつながりを大切にすることをコンセプトに入れてはどうか。開校時の児童生徒だけでなく、その後の予測も記載するとよい。

Bグループ 地域には小学校の統合だけで良いという声がある中、一貫校では子どもの発達段階にあった9年間を通した教育をするという意義を分かりやすく示すと良い。基本計画は、“子どもたちのためにこんなことをしていく”という書き方をもっとしていけばどうか。子どもたちに保証する教育の中身を入れた方が良い。大規模校・小規模校のメリット・デメリットについて示すと良い。今後、アンケート等で実際の子どもの声を計画に反映したほうが良い。計画地に関しては、面積としては十分だが、形状や傾斜を考慮して計画していく必要がある。段差を活かした設計としたい。

Cグループ 9学年の子どもたちが我慢せずに過ごせるだけの施設が必要。大切にしたい5つの視点が提案されたが、視点という言葉が分かりづらい。また、その中に、「地域とのつながりを大切にしたい学校」「登下校の安全も含めた防犯・防災面についての安全性」の視点も加えてはどうか。埋蔵文化財の出土品の状況によって計画通りに用地が使えない可能性を心配している。小学校区単位で、小学校も使用しながら活動している現状の自治会が、小学校がなくなることでのどのように存続、変化していくべきか検討する必要がある。地域から小学校がなくなること自体がマイナスなので、一貫校の魅力をもっと発信し、プラスの魅力を伝えることが大切。

3. その他

4. 閉会